

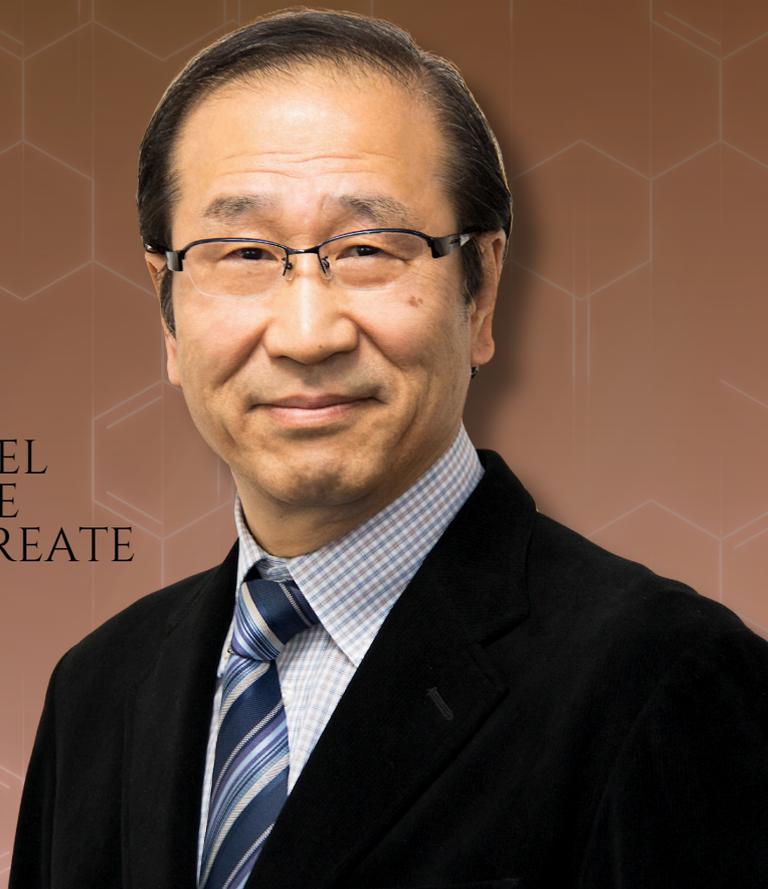
NOBEL PRIZE LECTURE

SUSUMU KITAGAWA

北川 進 特別教授
2025年ノーベル化学賞
受賞記念講演



NOBEL
PRIZE
LAUREATE



2026.2.4

12:00 - 13:45 (日本時間)

- YouTube Live配信予定時間
- インドネシア開催

主催



インドネシア国立
研究イノベーション庁

共催



ABOUT EVENT

2025年のノーベル化学賞受賞者である北川 進 特別教授（本学理事・副学長）が2026年2月4日（水）にインドネシア国立研究イノベーション庁（BRIN）主催の標記講演で講演されるにあたり、京都大学経営管理大学院は共催者として、本講演のオンライン配信を視聴するための情報をご案内いたします。

北川教授は、結晶構造の中に規則的に空いた「孔（あな）」に着目し、1997年にそのナノレベルの微細な孔にメタンや酸素のような分子を取り込むことができる多孔性金属錯体（MOF）を発表しました。MOFは、材料科学の分野に大きなブレイクスルーをもたらし、現在ではさまざまな機能を持つおよそ10万種類ものMOFが世界中で開発され、研究と応用の幅が広がり続けています。

MOFの開発の経緯と、もとなった発想、MOFがガスを取り込む構造・原理とその解明、MOFがサステナブルな循環型社会の形成にどのように貢献できる可能性があるのかなどMOFについての興味は尽きません。ご関心のある方は是非ご視聴いただきたいと思います。

なお、数多くの島々を持つインドネシアでは、パイプライン敷設が困難なため、MOFを吸着材として使ったIoT搭載型ガス容器を活用する「地産地消」のスマートガスネットワーク構想が進められています。これは、株式会社Atomis・八千代エンジニアリング株式会社・BRINの三者の協力で行われているもので、国際メガ・インフラマネジメント政策（八千代エンジニアリング）講座は、インフラにおけるイノベーション研究の一環としてこの取組に関与し、インフラ物性産学共同講座は、本プロジェクトを一つのモデルとして、インフラ物性研究を社会のイノベーションに結びつける研究を行っています。

本講演は、北川特別教授の卓越した研究成果とそれがもたらす社会的イノベーションの可能性について学び、特に社会インフラの分野における基礎研究の重要性を考える貴重な機会となることが期待されます。

PROGRAM

- 12:00-12:10 開会挨拶
BRIN長官 Prof. Arif Satria
- 12:20-12:30 祝辞 駐インドネシア日本国大使
- 12:30-13:15 北川 進 特別教授 記念講演
- 13:15-13:45 質疑応答

本ライブ配信の運営及び配信内容は、主催者であるBRINが管理しています。プログラムの詳細等はお申込みされた方に、前日までにメールでご案内予定ですが、当日の最新情報は主催者公式案内をご確認ください。

- 要事前申込（2月2日 正午締切）
- オンライン開催（YouTube ライブ配信）
- 使用言語：英語
- 対象：一般・学生
- 参加費：無料

問合せ先：京都大学経営管理大学院
国際メガ・インフラマネジメント政策講座
担当：友松
tomomatu.tomoko.7h*kyoto-u.ac.jp
（*を@に変えて送信してください）

申込み先：参加希望者は右下のQRコードまたは
下記のGoogle Formsよりお申し込みください。
<https://forms.gle/jkDA4AHCViHhbfK6>

※参加方法等の詳細は前日までに
メールでご案内予定です

